

「チンドンの音が聴こえるよ」第6回目 実施報告書 (2021. 7. 12)

スポンサー 株式会社 横島 さま

目的 コロナ禍で不便な生活を余儀なくされている福祉施設・保育園・幼稚園・養護施設の利用者様やスタッフの皆さまに少しでも元気を出して頂く手段として音楽を届けたいかわち家(チンドン屋)と、社会貢献として賛同し、スポンサーとしてご理解いただいた企業様がタッグを組んだ企画。チンドン屋は、単に音楽を奏でるだけでなく、客層に応じたレパートリーの多さと楽器を持ったまま動ける機動性、楽しい気分させる口上で会場を楽しませる強みがある。また、宣伝マンとして企業CMもぼっちり伝えられるので、企業様にとっても広告宣伝として考えていただく事もできる。

実施施設 午前 桜が丘保育園／とんぼ保育園／なかよし村保育園
(6カ所)

午後 NPO 法人諫早なかよし村 21 このゆびとまれ／デイサービスあかり／医療法人見松会あきやま病院

実施報告 事前にアポを取り、趣旨に理解頂いた上で希望する施設への訪問ということで、スケジュールはスムーズに進んだ。

スポンサー社名入り旗・看板、チラシ(SNS 拡散用ハッシュタグを記載)を準備して口上でも紹介、アピールはできたと思う。

1カ所につき、10～15分のパフォーマンスを3人編成(チンドン太鼓・ゴロス太鼓・楽士)で行った。

午前中の保育園では、チンドン屋さんを知らない子どもたちにも音楽を奏でればすぐに歌ったり踊ったりの反応があった。イベント等が自粛・キャンセルとなる中、子どもたちにとっても、ひとときの楽しい思い出の時間となったと感じた。

午後の施設でも、チンドン屋の懐かしさや思い出のメロディに涙する方、一緒に口ずさむ方、思わず踊りだす方などたくさんのご利用者様と職員様の感情を揺さぶる実感があった。施設職員の方やご家族からも「普段、職員も見たことがないような笑顔で楽しんでいた」「一分前の出来事も忘れてしまう認知の方が帰宅後、印象を覚えていてとても驚いた」「普段じっとすることが難しい患者さんが、終演まで集中して楽しんでいた」などの驚きの声もいただいた。どの会場でも歓迎モードでの出迎え、そして名残り惜しいお見送りを受けて、少しの時間でも楽しい時間と思い出を提供できたと感じる。

実施場所について

「窓際チンドン」と銘打って、基本屋外での演奏を行う姿勢でいたが 会場側の都合や天候により、室内に誘導される会場もあった。

今後も会場の判断にて臨機応変に対応していくが、引き続き手指の消毒や検温・マスク着用での演奏を行い、コロナ対策に気がけていく。

外での演奏では、音を聞きつけた近隣住民の方が、株式会社横島様のなびく旗と共に、チンドン屋と子どもたちの元気な姿を微笑ましく、遠目にのぞいていらっしゃる方もあった。

その他

【各会場の写真】

↓ なかよし村保育園
園庭にて



とんぼ保育園 ↑
室内、入り口前



デイサービスあかり ↑
玄関前

↑ このゆびとまれ
玄関前

あきやま病院 →
中庭



この度は
誠にありがとうございました！